



～ ライフプランセミナー ～

1月7日、アネックスパル法円坂にて、NIE.E カレッジの大石泉さんを講師に招き「ライフプランセミナー」が開催されました。これまでは、「50歳パーティー」として開催していましたが、この2年間は、コロナ感染拡大防止のため開催することができませんでした。

今年度は50～52歳の組合員を対象に、今後の人生設計を考えるきっかけとして実施し参加者からは好評を得ました。

参加者の感想

- ・大石先生のわかりやすい説明のおかげで、自分のライフプランを見直すきっかけとなりました。
- ・今まで具体的に考えていなかったのに、この年齢になって参加できたことは、今後に対して非常に有意義であったと思う。
- ・老後の資金について心配だけど、毎日忙しく考えることもなく過ごしていたので、勉強できてよかったです。
- ・一度、ファイナンシャルプランナーの方のお話を聞いてみたいと思っていました。
- ・お金の話だけでなく、50歳を節目にこれから65歳（100歳？）までの人生を考えるきっかけをいただきました。来年も、ぜひ皆さん（50歳の人）が参加できますように。



- ・iDeCo・NISAともにパートナーがしてくれていますが、メリットをよく理解していなかったもので、よかったです。
- ・今まで自分のお金については、あまり考えたことがありませんでした。これを機会に、じっくりこれからの豊かな生活について考えたいと思います。
- ・コロナ禍で仕方ないのですが・・・食事会がなかったのが残念です。

最後に記念品として、ペアのタンブラーを贈呈しました。ビールがひと味おいしくなりますように。

大阪教組 第2回「外国にルーツをもつ教職員ネットワーク」学習会

- ・日時：3月4日（土）13：00～16：30頃（12：40～受付）
- ・内容：京都市・東九条周辺のFW
- ・講師：朴実（パク シル）さん（京都・東九条CANフォーラム代表）
村木美都子さん（東九条まちづくりサポートセンター事務局長）
中島智子さん（元プール学院大学教員）
- ・集合：13：00にJR京都駅八条口 京都アバンティ前 ※時間厳守
- ・定員：先着20人 参加希望の方は市教組本部まで電話にて申込みください。

「市民の会」 市教委交渉

12月20日、市役所にて「多文化共生教育の推進をめざす大阪市民の会」と教育委員会との協議が行われました。

冒頭に署名を手交し、協議を進めました。今年度は教職員に対する研修や外国人教育主担の位置付けについて、そして民族講師に対する身分保障についての協議が中心にすすめられました。民族学級に在籍していた卒業生からは、外国人教育主担者に支えられた経験の話があり、外担を学校としてしっかり位置付けるよう要求がありました。民族講師の身分保障については、これまで大阪では、民族教育を民族講師とともに取り組んできており、今も民族講師の力を借りて取り組んでいるのに待遇があまりにも悪すぎる。今の労働条件が続けば人員確保が難しくなるという意見がありました。これらのことについて具体的にどのような研修や制度が必要なのか、そして、どのように作っていくのかを検討する有識者会議を開くように要求をし、今後も調査・研究を進めていくことを確認して協議を終えました。

組合員の方々にはこの間、「多文化共生教育の推進をめざす」署名のご協力ありがとうございました。



= 栄養教職員部・全体集会 =



12月16日、第1回栄養教職員部全体集会を開催し、多くの参加者がありました。市教組の三谷書記長からは、定年引き上げにかかる各種制度についての説明がありました。栄養教職員部の藤井事務長からは、民間委託実施校や親子方式実施校についての説明があり、その後、小グループでの意見交換会を行いました。

民間委託の問題点や食物アレルギー対応の課題など多くの意見が出され、私たちの職務がスムーズにすすむよう、今後の運動の方向性が確認され実りのある集会となりました。

広報部メモ

帰省すれば家族で近所の神社に参詣し、おみくじを引くのがお正月の恒例となっている。今年は大吉だった。耳ざわりのよい言葉が並んでいた。自分に都合がよい内容だから得心しているだけだといまじめながらも、素直にうれしい。そう言えば、これは他の情報にも同じことが言えまいか。どんな立場で、それを受け止めるのか。そもそも情報源は、どこなのか。どこを切り取って伝えているのか。伝える側の意図を理解しているか。そして、それをどのように自分自身の中に取り入れるかによって、子どもたちに影響が及ぶことも自覚しておきたい。そんなことをふと考えたことが、大吉のいちばんの効果だったかもしれない。(り)

2月の組合費の引き落としは

2月20日(月)

※働きがいのある職場を実現するため、なかまの声かけで組合員を増やしましょう！

・・・ コリアタウン フィールドワーク ・・・



1月14日、「『あまりTVには映らない』コリアタウンのフィールドワーク」が開催されました。小雨交じりの曇天でしたが、36人の参加がありました。当日の案内をいただいた民族講師会のソンセンニムは、各グループで説明をするソンセンニムと説明ポイントで待機しているソンセンニムに別れ、丁寧な説明を行うなど全面的に協力していただきました。

まずは、鶴橋商店街の雑踏をすり抜けながら、町の形成の説明。昔はチェサ（祭祀：神様や先祖を祭る行事）の供え物は、鶴橋しか

売っていないものもあったので、日本全国から買い物に来ていたとのこと。疎開道路は、空襲による延焼を防ぐため、そして軍用として道路を整備するために、「建物」を疎開させた道路のこと。この道を北へ上ると、当時、東洋最大の軍事工場と呼ばれた陸軍の砲兵工場につながります。日本最古の橋が架かっていたことを伝えるための石碑「つるのはし跡」。仁徳天皇の時代に、百済から渡ってきた渡来人の土木・建築技術を用いて、日本の人たちと一緒に作った橋とされています。ちなみに東成区には「かめのはし跡」もあるそうです。

仁徳天皇を祭っている御幸森神社は、難波宮から天皇が度々足を運んだ森という意味で名付けられました。猪甘部（いかいべ＝官職）が朝廷に献上する豚を家畜として飼育していたことが「猪飼野」の語源となり、渡来人がこの辺りにたくさん住んでいました。



御幸通商店街の南側にある大阪第四朝鮮初級学校は、1946年に朝鮮語を教える国語講習所として開校。毎年、御幸森小学校と学年ごとの交流を行い、登下校時にはお互いアンニョンハセヨと声をかけ合って友好を温めてきました。橋下府政での補助金打ち切りにより年々経営が難しくなり、今年度で生野朝鮮初級学校と合併し廃校となります。跡地は旧御幸森小学校とともに、地域交流の場として活用される予定です。校舎からはチャンゴとブクの響きが聞こえてきました。

最終ポイントは平野川。昔は蛇行していて、大雨のたびに氾濫していた川の改修工事が1919年に開始。植民地支配下で生活が苦しかった朝鮮半島の人々が、1922年に就航した済州島と大阪を結ぶ「君が代丸」に乗って日本に渡り、改修工事やその飯場などで働くようになり、次第に定住していったそうです。最後は、御幸森第二公園で解散し、各自、買い物や食事を楽しみました。



＝北部支部＝



1月17日、大阪市立総合生涯学習センターで北部支部第2回評議員会が開催されました。支部による提案の後、定年延長と60歳以降の給与削減について、特別支援学級の入級資格について、免許更新制廃止にともなう研修制度のあり方について、栄養教諭の全校配置について、物価上昇分以上の賃金アップについて、などの質疑・討論が行われました。

これに対して、執行部からは、諸課題の解決に向けて粘り強く闘っていくと答弁。採決では、執行部原案が可決され評議員会を終えました。

1月18日、エルおおさかにおいて東部支部第2回評議員会が開催されました。

支部執行部から、今年度の活動の報告と今後の活動について、本部役員選挙、支部役員選挙の選挙管理委員の選出についての提案がありました。評議員からは、オンライン授業の現状、働き方改革について、研修のあり方について、原発問題について質問がありました。討論では、支部女性部の活動についてと、分会活動の報告がありました。採決では、執行部原案が圧倒的多数の賛成により可決されました。

＝東部支部＝



各支部で評議員会を開催！

＝南部支部＝



1月18日、阿倍野市民学習センターで南部支部の評議員会が開催されました。

議長に南百済小分会の山下評議員が選出され、児玉書記長より経過報告および当面の闘争方針の提案がありました。討論では、東小橋小分会の山田評議員より分会活動の大切さ、女性部からは晴明丘小分会の中野評議員より夏の研修旅行や女性部長会での取り組み、青年部からは桑津小分会の高嶋評議員よりこの間の青年部の取り組みや3学期の学習会の参加お願い等が、それぞれありました。採決では、執行部原案が圧倒的多数の賛成により可決しました。

1月19日、西成区民センターで、西部支部評議員会が開催されました。執行部の提案に対して、真住中の家原評議員より、ロシアのウクライナ侵攻を受けて、国内で防衛費の大幅増が議論される中、戦争反対の世論を広げ、平和教育を展開するよう修正案が出されました。採決では、家原評議員の趣旨を受け入れた原案が圧倒的多数の賛成により可決成立しました。

＝西部支部＝

